

いしみなといせき

大河のほとりに人・モノ・文化が行き交う

ここが“越後平野の玄関口”だった

石港遺跡 出土品展

信濃川が繋いだ古代の文化

2025年

9月13日(土)～11月3日(月祝)

会場 信濃川大河津資料館

大河津分水路改修事業「令和の大改修」に伴い発掘調査が進む石港遺跡。
調査により出土した“越後平野の玄関口”を示唆する出土品などを展示します。

主な
展示品



器台

壺などの土器
を乗せる台。



ハソウ
甌

胴部の穴に竹の管などを
差し込んで液体を注いだ。

小型
丸底壺

まつり用の
小型の壺。



子持勾玉

まつり用と考
えられる玉。



勾玉

まつりにも使われた
アクセサリ。



開催決定!

展示説明会

・説明会は申し込みが必要です。
・詳細は裏面をご覧ください。



信濃川大河津資料館

[住所] 新潟県燕市五千石

[TEL] 0256-97-2195

[開館時間] 9:00～16:00

[休館日] 月曜日(休日の場合は翌平日が休館日)

信濃川大河津資料館HP



<https://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/>

共催 国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所・燕市教育委員会

石港遺跡とは

河口(海)から約3.8km、燕市渡部の大河津分水路右岸に在り、2022年度から発掘調査を進めている石港遺跡。これまでの調査で、弥生時代中期(約2100年前)から古墳時代(約1700～1500年前)にかけて営まれた集落であることが分かりました。柵等で囲まれた首長居館しゅちょうきょかんと考えられる施設や頭椎大刀かぶつちのたちの柄頭など貴重な発見があり、越後平野の歴史の中で、重要な拠点として注目されています。



竪穴建物跡

●首長居館とは

堀や柵、溝などで囲まれた中に首長の住まいや政治、まつりなどの場を設けたもの。

●頭椎大刀とは

柄頭がこぶし状の形をした古墳時代の大刀で、主に儀礼用として用いられたと考えられています。

展示説明会

日時 2025年10月13日(月・祝)
14:00～15:30

内容 大河津分水路改修事業「令和の大改修」の概要や進捗状況について紹介した後、石港遺跡の特徴や出土した遺物の概要、会場に展示している出土品について解説します。

会場 信濃川大河津資料館

参加無料
定員30名



※お問い合わせは、信濃川大河津資料館まで。

現地説明会

日時 2025年9月27日(土)
10:00～12:00 / 13:00～15:00
(受付:9:30～11:00 / 12:40～14:30)

集合場所: 石港遺跡発掘調査現場事務所

令和7年度に発掘調査は終了します。発掘現場を見る最後のチャンスです！

石港遺跡
発掘調査
現地説明会HP



※詳細は、燕市HPをご確認ください。 ※天候により、中止することがあります。



講師紹介



信濃川河川事務所計画課
小八田 涼



燕市教育委員会 社会教育課
松島 悦子

展示説明会申し込み

FAXから 0256-97-2196 (信濃川大河津資料館)

下記を記入のうえ本用紙を送信ください。

申込フォーム
から



二次元コードを読み取るとお名前、電話番号等を記入いただく画面となります。

参加者
氏 名

同伴者
氏 名

連絡先
TEL